



## 知っていますか？中央図書館に無い資料の入手方法

後学期が始まり、学生のみなさんの授業内容もより専門的になってくると思います。中央図書館ではみなさんの学習に必要な資料を取り揃えています。もし、探している資料が中央図書館に無いとき、どうしますか？そこで今回は、他の図書館から資料を取り寄せる方法について紹介します。

### その前に・・・

自分の必要としている資料の情報の確認と、学内にその資料が無いかどうかを確認しましょう。Liliの第2号(2010.2)、第4号(2011.4)で特集しているの、参考にしてください。  
Lili Webサイト < <http://www.lib.u-toyama.ac.jp/chuo/lili/lili.html> >



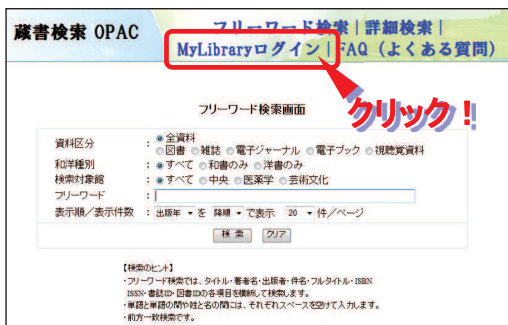
### 資料の取り寄せ

中央図書館に無い資料は、他キャンパスの図書館や他大学の図書館から取り寄せることができます。図書館同士で資料の貸し借りをする仕組みのことを、ILL(Inter Library Loan)といいます。利用にかかるコピー代や送料は個人負担になるので、注意してください。

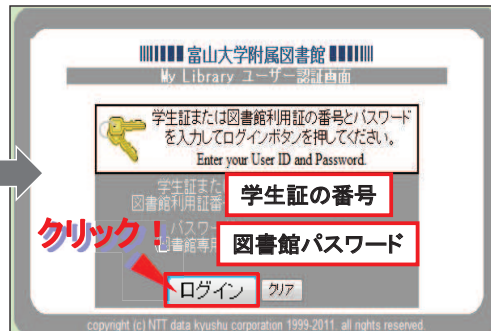


### ILL利用方法

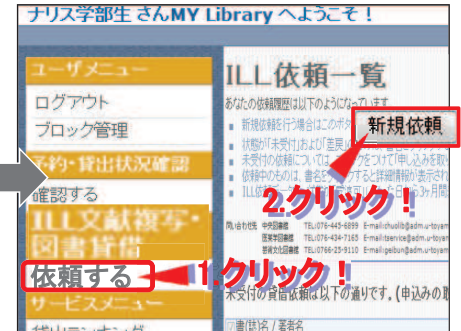
① 図書館の蔵書検索画面(OPAC)から図書館のWeb上サービス「My Library」ログイン画面へ



② 学生証の8ケタの番号と図書館専用のパスワードを入力してログイン!



③ 画面左メニューの「ILL文献複写・図書貸借」の「依頼する」をクリック後、画面右の「新規依頼」ボタンをクリック



### 金額はいくらぐらいかかる？

サービス	どこから	料金
現物貸借 (図書取り寄せ)	学内から	無料
	学外から	往復の送料 1,200円~1,500円
文献複写 (コピー取り寄せ)	学内から	1枚20円
	学外から	1枚35円~50円 +送料

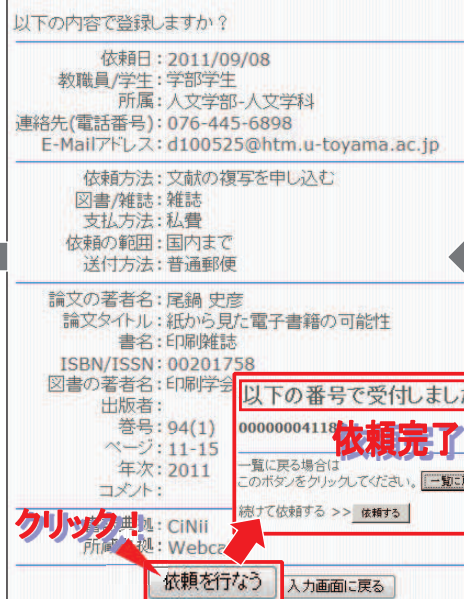
### 到着までどれぐらいかかる？

どこから	期間
他キャンパス図書館から	2~3日
学内研究室から	3~10日
学外から	3~10日

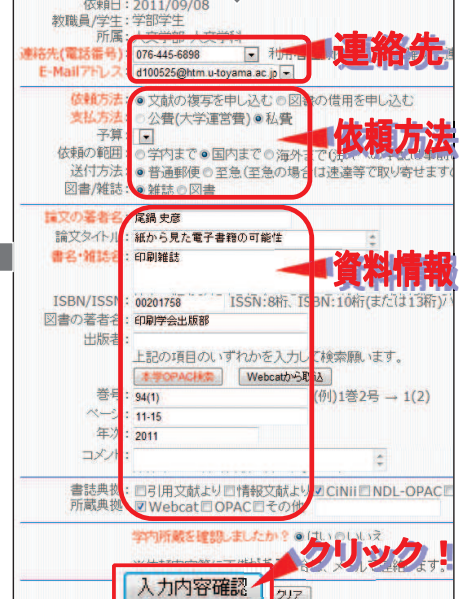
### 到着は怎么样って分かる？

- 入力したアドレスにメールでお知らせ
- MyLibraryからも到着確認可能(一覧画面に「受け渡し可」と表示)
- 図書館1F掲示板の「引渡票」をサービスカウンターへ持参
- 料金と引き替えに受け取り
- 引渡し時間: 平日9:00~17:00

### ILL依頼確認



### ILL依頼情報



⑥ ILLにかかる料金は個人負担です。到着を確認したら、カウンターへ!

⑤ 入力内容を確認して「依頼を行なう」ボタンをクリック。受付画面がでれば依頼完了!!

④ 資料を取り寄せるのに必要な情報を入力して、「入力内容確認」ボタンをクリック

# 私が薦めるこの1冊

工学部長 石原外美

## 『失敗学のすすめ』

高校まで学んできた、物理や数学では正解が一つしかありません。しかし、大学で学ぶ学問では、いろんな制約条件のもとで、目的を最も達成できる最適な解を求めることが要求されます。その意味で、語弊はありますが、答えが複数あるといっても良いかと思えます。そこでは、マニュアルに定められた方法を用いて答えが求められるわけではありません。自ら仮説を設定し、実験をしながら仮説の成否を確認するという方法が取られます。先人がたどった道を利用できる場合もありますが、時には、全く手掛かりのないケースもあります。このように、創造的なものを作り出すためには、多くの仮説の間違い(失敗)を乗り越えて、問題を解決していく必要があります。

「失敗学のすすめ」の著者は機械設計学者の畑村洋太郎氏です。失敗を恐れるのではなく、失敗から学んだことを生かしながら問題を解決していくことを推奨した書物です。この本は文系、理系の区別なく、学生諸君のこれからの生き方に多くのヒントを与えてくれるものと考えます。是非、一読をお薦めします。



今回お薦めの図書は・・・  
 失敗学のすすめ / 畑村洋太郎著  
 (講談社) 2000  
 請求記号 336.17||H28||Shi  
 中央図書館1階学生用  
 工学専門図書室 配架

## 図書館からのお知らせ

### ○講習会「文献の探し方と入手方法」を開催します。

レポート執筆や調査の際に役立つ文献入手法をお教えます。開催日時は次のとおりです。(申し込み制・先着順)  
 文系学生向け: 平成23年10月26日(水)、11月9日(水) / 理系学生向け: 平成23年11月2日(水) 時間: 13:00~14:30  
 問い合わせ・申し込み先→ 中央図書館カウンター または 中央図書館サービス担当 TEL:076-445-6898 / E-Mail: [chuolib@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:chuolib@adm.u-toyama.ac.jp) まで

### ○新着の学生用図書が配架されています!

シラバス掲載図書のほか、今年度先生方に学生用として選んでいただいた本を配架しています。先生からのコメント付の本もあり、富山大学附属図書館蔵書検索OPAC画面上部の「おすすめの本」からおすすめコメントを読むことができます。参考にしてみてください。

### ○学生希望図書募集中です。

研究・学習に必要な図書で、図書館にない図書のリクエストを受け付けています。カウンターの申し込み用紙に必要事項を記入し、職員に提出してください。

編集・発行 富山大学附属図書館中央図書館 〒930-8555 富山県富山市五福3190

TEL: 076-445-6898 / FAX: 076-445-6902 / E-Mail: [chuolib@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:chuolib@adm.u-toyama.ac.jp)

- 附属図書館URL <http://www.lib.u-toyama.ac.jp/index.html>
- 中央図書館URL <http://www.lib.u-toyama.ac.jp/chuo/index.html>
- 携帯版URL <http://opac.lib.u-toyama.ac.jp/mobile/> (右のQRコードからもアクセスできます)



### ◇中央図書館開館カレンダー◇

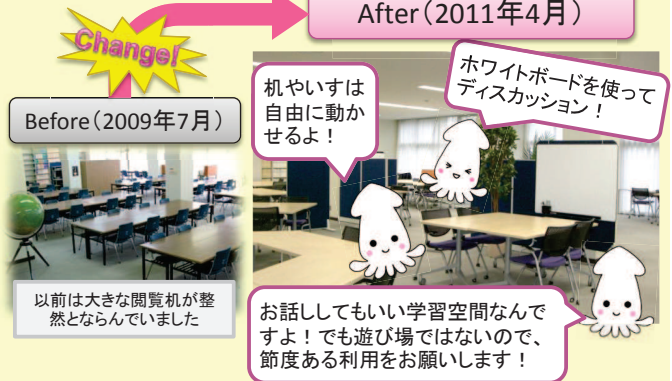
通常開館 8:45-22:00  
 休日開館 10:00-17:00  
 短縮開館 9:00-17:00  
 赤字は休館日です

10月							11月							12月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	1	2	3	4	5	6	5	6	7	8	9	10	11	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	12	13	14	15	16	17	18
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	19	20	21	22	23	24	25
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	26	27	28	29	30	31	
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30											
31																				

## 館内案内

## ACTIVE・LEARNING ZONE

図書館2階 **アクティブ・ラーニングゾーン**を紹介します!  
 図書館1階リフレッシュ・コミュニケーションゾーンとともに整備を進めてきましたが、気軽にグループ学習ができる空間として、授業期間中はたくさんの学生さんににぎわいました。



Before (2009年7月)

After (2011年4月)

以前は大きな閲覧机が整然と並んでいました

机や机は自由に動かせるよ!

ホワイトボードを使ってディスカッション!

お話してもいい学習空間なんですよ! でも遊び場ではないので、節度ある利用をお願いします!

- ・可動式の机・机(予備も合わせて座席数107)、ホワイトボード(9台)、柱にコンセントがあります。
  - ・無線LANが利用できます!(学内者のみ)
- 自分のノートPCやiPadを持ち込んでのインターネット利用ができます。初めに設定が必要ですので、詳しくはカウンターでおたずねください。なお、無線LANは、図書館ほぼ全館で利用ができますよ。

### → これからのアクティブ・ラーニングゾーン!!

- ・10月4日(火)より、ノートパソコンの館内貸出サービスを行います! グループでの学習や調べものなどにご活用ください。
- ◎WordやPower PointなどのOffice基本ソフトの利用
- ◎無線LANでインターネット利用
- ◎プロジェクターも必要に応じて貸出します。
- 利用は学内者のみ。利用希望者はカウンターまで!
- ・このゾーンは現在も整備を進めており、プレゼンテーションコーナーの新設などを考えています。学生のみなさんの学習環境として充実させ、小規模な授業やイベントにも活用できるような空間に整備していく予定です。

不要となった図書を希望者にお譲りします。中央図書館2階「お持ち帰りコーナー」に図書が並べてありますので、手に取って自由にお選びください。

### 【編集後記】

社会人になってからも情報収集は重要な要素です。学生の間に図書館をフル活用して、是非そのスキルを磨いてください。今回紹介したILLも是非ともご活用ください(It)

